

**日本学術会議 農学委員会・食料科学委員会合同
農業情報システム学分会（第 24 期・第 4 回）議事要旨**

日 時：平成 31 年 1 月 18 日（金）13：00～15：05

場 所：日本学術会議 5 階 5-A(1)会議室

出席者：澁澤 栄（委員長）、大下誠一、大政謙次、川村周三、清水 浩（副委員長）、高山弘太郎（幹事）、野口 伸、彦坂晶子、真木太一、安永円理子（幹事）、吉本真由美

オブザーバー：石田大喜氏（農林水産省大臣官房政策課主席生産専門官）

事務局：三神雅子

資 料

1. 農業情報システム学分会（第 24 期・第 3 回）議事録 【資料 1】
2. 公開シンポジウム「科学と市民と農業—科学技術イノベーションの役割—」報告書 【資料 2】
3. 講演資料：農業政策の展開方向について 【資料 3】
4. 古在豊樹氏退会願い（非公開） 【資料 4】
5. 学術会議・日本の展望 2020 検討委員会について 【資料 5】
6. オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会について 【資料 6】
7. マスタープラン 2020 大型研究計画案 【参考資料 1】

議 題

- （1） 前回議事録の確認
- （2） 講演：農業政策の展開方向について（石田大喜氏）
- （3） ロードマップについて
- （4） 平成 31 年度のシンポジウム企画について
- （5） その他
 - ・委員の退会について
 - ・公開シンポジウムの報告について
 - ・委員会等の取組みについて

議 事

1. 前回の議事録を確認した。【資料 1】
2. 農林水産省大臣官房政策課主席生産専門官・石田大喜氏より「農業政策の展開方向について」ご講演いただき、全体で意見交換がなされた。【資料 3】
3. 澁澤委員長より、本分会が目指す農業システムのロードマップ作成の検討状況について説明があり、議論の参考として、日本の展望 2020 検討委員会での議論およびマスタープラン 2020 大型研究計画の検討状況が紹介され、その後、全体で意見交換がなされた。本分会提案のマスタープランを他分会提案と合同して包括案作成に協力することに異論は無かった。【資料 5、参考資料】
4. 平成 31 年度のシンポジウム企画について、全体で意見交換がなされた。
5. 古在豊樹氏より本分会の退会願いが提出され、受理された。【資料 4】
6. 高山幹事より、2018 年 9 月 21 日に本分会が主催した公開シンポジウム「科学と市民と農業—科学技術イノベーションの役割—」の開催概要について報告があった。【資料 2】

7. 高山幹事より，2018 年 12 月 18 日に本分科会が主催した公開シンポジウム「フェノタイプング技術の農産物生産への実装」の開催概要について報告があった．
8. 澁澤委員長より，オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会ならびにマスタープラン 2020 についての紹介がなされた．【資料 6】【参考資料 1】
9. 次回の分科会は，4 月上旬～5 月中旬（4 月 24・25 日を除く）に日本学術会議にて開催予定で調整することとした．